

(公財)京都伝統産業交流センター		平成29年度経営計画 兼 経営努力結果	
基本事項			
所管局課	産業観光局商工部伝統産業課	本市出えん金	5,000 千円
基本財産/資本金	11,000 千円	本市出えん率	45.5 %
「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」			
方向性	存続	目標年度	—
「今後の方向性」に向けた基本的方針			
業務面	伝統産業に関する普及啓発事業はもとより、伝統産業製品の需要拡大・販売促進事業(外国人観光客などの受入れ環境等も含め)に取り組むことで、伝統産業の活性化を図る。		
財務面	伝統産業製品の需要拡大につながる販売促進や機能充実により、自主財源の確保を目指す。		
組織面	伝統産業界の事情に精通し職人とのネットワークを有する「総合プロデューサー」等の配置などにより、人員体制を強化し積極的かつ安定した財団運営を図る。		
その他	特になし		
当年度の取組目標に対する意見			
所管局	<p>平成26年度に実施したイノベーション検討会議の議論を踏まえ、平成27年度から体制を強化し、ソフト事業を中心にふれあい館の活性化に取り組んでいる。</p> <p>平成28年度においては、工房訪問事業や異業種交流事業などを本格実施し、目標を超える参加者を集め、好評を得るなど、ソフト面で大きな充実が図られた点について高い評価を与えることができる。</p> <p>また、オンラインショップの運営や記念品需要の掘り起こしにより前年度を大きく上回る売上を記録するなど、販売事業も好調である点についても、非常に望ましい結果である。</p> <p>今後は、目標値を下回った常設展示やギャラリーの魅力向上及び来館者へのサービス向上のための取組をさらに推し進めてもらいたい。</p>		
当年度の取組に対する総括(※)			
団体(※)	平成27年度から京都伝統産業ふれあい館の活性化と財団運営の安定化に向けて行ってきた各取組についてはある程度の定着が見られ、それらを土台として新たな事業の展開にもつながった。(工房コンシェルジュの新メニューや観光施設のオリジナル記念品など)		
所管局(※)	平成29年度は、企画展の充実や芸妓舞台、「京都工房コンシェルジュ」、「ふれあい館サロン」を筆頭に、伝統産業の需要拡大に向けて積極的に取組み、来場者は昨年から微増となり、伸び率も2倍以上だった。平成28年度から好調な「京都工房コンシェルジュ」に加え、企画展でも前年同期間と比較し、来館者が約51%アップするなど、ニーズを捉えた企画で非常に好評であったのは評価できる。今後もさらなる増客に向けて充実を図られたい。		
外郭団体総合調整会議(※)	<p>伝統産業品の販売促進機能の強化に取り組み、オンラインショップでの売上拡大や記念品需要の取り込みもあり、販売額を大幅に増加させたことは評価できる。</p> <p>今後も引き続き、市民・観光客に対する伝統産業の普及・啓発に取り組むことが重要である。</p>		

(1)業務に関する取組

目標1 「伝統産業の魅力を伝える普及啓発施設としての機能の充実」

中期経営計画 における取組	「ふれあい館」の展示スペースを、伝統産業製品を業種毎に並べるだけでなく、テーマ性を持たせた展示を行い、常設展、企画展を充実させ伝統産業の普及啓発施設としての機能を強化する。
当年度目標	抜本的なリニューアルに向け設計を進めるとともに、企画展や季節に応じた展示替え、若手コーナー等の設置を進める。 なお、指標①②とも中期計画の目標を下回るのは、抜本的リニューアルに注力する必要があるためである。
当年度結果 (※)	歌舞伎や工芸品のなかのモチーフとしての生物など、常設展示とは違う切り口で特別展を開催することで、同じ常設展示場でありながら雰囲気の異なる空間を作り出すことができ、来場者の増加につながった。

指標①	ギャラリー展の年間企画日数 (単位：日)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	315		320		325		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	310	315	181	320	169	180	—	250

指標②	常設展示の展示替の点数 (単位：点)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	1,100		1,200		1,300		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	422	1,100	475	1,200	658	500	—	800

目標2「販売促進機能の充実」

中期経営計画 における取組	展示品の購入希望者が、確実に購入できるようサポートする。外国人観光客の伝統産業製品の制作工房訪問ニーズが高いにも関わらず、受入れ環境が整っていないため、好調なインバウンド消費の機会を取り逃がしている点を改善する。
当年度目標	工房訪問ニーズに応え販売の可能性を広げる「工房コンシェルジュ」を充実させるとともに、スタッフ等のインバウンド対応を向上させる。
当年度結果 (※)	工房訪問事業については、訪問可能な工房の拡大よりも、ホテルとタイアップして新しいメニューを開発するなど、訪問者にとってより魅力的な内容になるよう個別の案件のブラッシュアップに努めた結果、利用者数及び利用件数ともに大幅に前年度を上回った。

指標①	「ふれあい館」を基点にした工房訪問ツアー訪問先件数 (単位：件)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	20		40		50		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	—	20	20	40	38	50	—	40

指標②	展示を契機とした販売額（展示関連品，オンラインショップ） (単位：千円)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	15,000		16,000		17,000		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	—	15,000	21,071	16,000	40,071	17,000	—	40,685

指標③	異業種交流機能の充実 (単位：回)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	3		6		6		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	—	3	1	6	8	6	—	6

(2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位:千円)
	平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考欄
	予算	実績	予算	実績(※)	予算	実績(※)	
経常収益	52,936	69,110	55,000	78,720	61,000	71,189	
経常費用	52,936	56,619	55,000	73,140	61,000	63,064	
当期経常増減額	0	12,491	0	5,580	0	8,125	
当期正味財産増減額	0	12,491	0	5,580	0	7,424	
資産合計	—	36,400	—	51,846	—	56,736	
負債合計	—	8,953	—	18,819	—	16,285	
正味財産	—	27,446	—	33,027	—	40,451	
うち累積損益額	—	16,446	—	22,027	—	29,451	

目標「事業収入の確保」	
中期経営計画における取組	普及啓発事業である摺型友禅染体験、収益事業であるオンラインショップ「京もの専門店「みやび」」の運営を通じて収益を確保するとともに、更なる収入増のため観光業界等と広く連携し、外国人観光客等に向けたの伝統産業製品の販売拡大につなげる。
当年度目標	個人向け販売に加え、京都で開催されるMICEに関連した記念品等の法人需要を取り込んでいく。また、観光業界とも引き続き積極的に連携し、伝統産業製品の販売拡大に努める。
当年度結果(※)	法人向け記念品等の販売については、様々なオーダーに可能な限り細やかに対応してきた結果、年間を通じて依頼をいただいております、売上実績の堅調な推移につながった。

指標	事業収入							(単位:千円)
	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
中期経営計画	—	6,500		7,000		7,000		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	6,064	6,500	8,223	7,000	16,304	7,000	—	15,878

(3)組織に関する取組

目標「活性化事業に向けた人員配置」

中期経営計画 における取組	京都市からの派遣職員2名及び総合プロデューサーを配置し、積極的かつ安定した事業展開を行う。
当年度目標	総合プロデューサーのリーダーシップの下、「京都伝統産業ふれあい館」の抜本的リニューアルや他団体・企業とのタイアップ企画などを積極的に進めていく。
当年度結果 (※)	新たに英語のスキルが高い臨時職員を雇い、工房コンシェルジュなど特に外国人からの問い合わせが多い事業のサポートに入ってもらった結果、全体として安定的に事業展開ができる環境となった。

指標	職員数 ※括弧内は嘱託職員数 (単位：人)							
	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
中期経営計画	—	6 (1)		6 (1)		6 (1)		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	3(5)	6 (1)	6 (1)	8(3)	6(2)	6(1)	—	6(1)